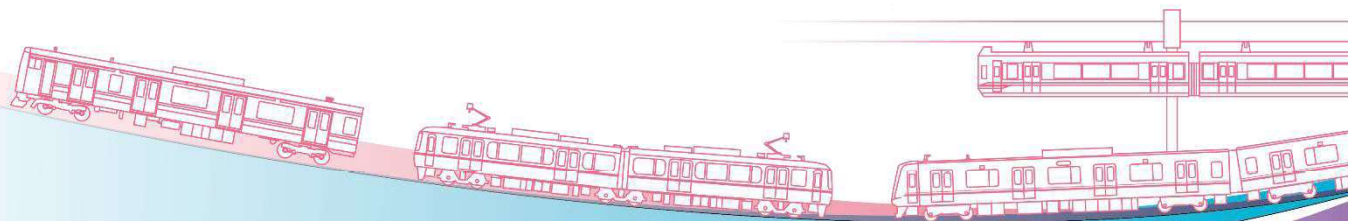


第3章

推進方策

・評価指標



第3章 推進方策・評価指標

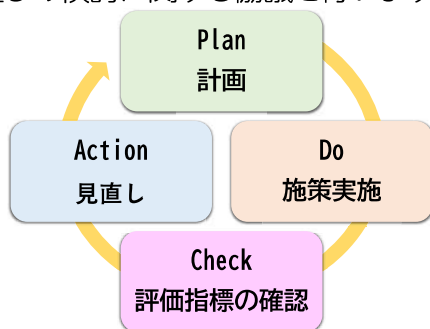
1. 進行管理

【進行管理の考え方】

計画の推進に向けて、評価指標を設け、交通に関する市民意識調査などにより、各交通施策の進捗状況確認を行うとともに、定期的(概ね5年ごと)に評価指標のモニタリングを実施しながら、各交通施策の効果を確認し、達成度の検証を図るPDCAサイクルを用いて進めます。

【進行管理体制】

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律*に基づく法定協議会としての「藤沢市交通政策推進会議*」の中で、市民、関係機関、学識経験者等と行政により、計画の進行管理や評価、見直しの検討に関する協議を行います。



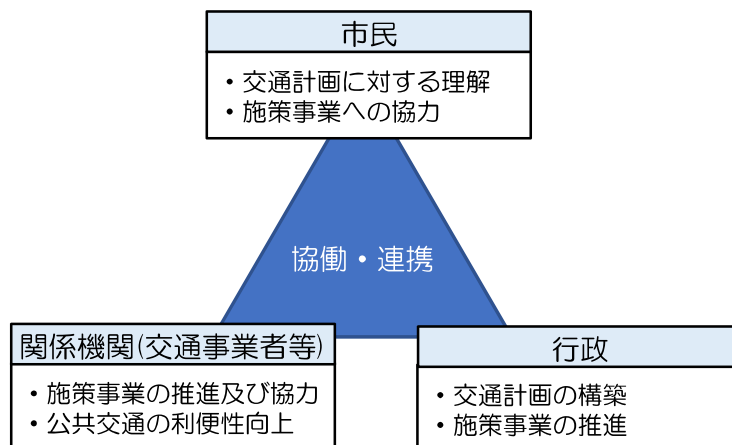
■ PDCAサイクルのイメージ

■ 藤沢市交通政策推進会議の構成

構成員	
市民委員	
学識経験者	
関係機関	交通事業者、交通管理者 商工・福祉関連団体
行政機関	国、神奈川県、藤沢市

2. 推進体制

藤沢市都市交通計画における施策や事業を推進するにあたり、市民、関係機関(交通事業者等)及び行政の3者が協働・連携によって、将来交通像の実現に向けた、取組を進めます。



■ 推進体制のイメージ

3. 評価指標

将来交通像の実現に向けて、交通施策の進捗状況を確認し、達成度の検証を行うための評価指標を次のように設定しました。

基本方針1 健康・幸福につながる外出を促進する		
【アウトプット指標】		
評価指標	現況	目標
シェアサイクルポートの箇所数	131 ポート	増加 (ふじさわサイクルプランに準ずる)
自転車通行空間の整備延長	3.3 km	ふじさわサイクルプラン [実施計画]の目標による
歩道の整備延長	306.7km	320km
【アウトカム指標】		
評価指標	現況	目標
週3回以上外出した人の割合 (※括弧内は70歳以上の高齢者を対象とした割合)	85.8% (69.6%)	88% (77%)
週1回以上自転車に乗る人の割合	35.4%	向上 (ふじさわサイクルプランに準ずる)

基本方針2 日々の移動を支える		
【アウトプット指標】		
評価指標	現況	目標
鉄道駅数	21 駅	24 駅
地域主体の乗合タクシーの導入箇所数	2 箇所	増加
都市計画道路の整備率	77.5%	85%
サイクルアンドバスライド施設数	4 箇所	8 箇所
【アウトカム指標】		
評価指標	現況	目標
最寄り駅まで15分圏の人口割合 (※括弧内は自転車を含む数値)	80.9% (84.3%)	82% (88%)
バスを週1回以上利用する人の割合	21.8%	23%
市内の主要な道路における平均旅行速度	約 27.0 km/h	改善
最寄り駅までの所要時間に関する満足度	39.5%	向上

基本方針3 まちの賑わいを支える

【アウトプット指標】

評価指標	現況	目標
主要幹線道路の整備率	85.2%	90%

【アウトカム指標】

評価指標	現況	目標
都市拠点の駅の年間乗降客数	約 213 百万人	約 315 百万人
都市拠点の平均滞在者数	約 1,145 千人	約 1,690 千人

基本方針4 環境に負荷をかけない

【アウトプット指標】

評価指標	現況	目標
電気・燃料電池自動車(自家用車)の補助実績台数	527 台	1,200 台
電気・燃料電池バスの導入台数	0 台	向上

【アウトカム指標】

評価指標	現況	目標
運輸部門における温室効果ガス排出量	335 千 t-CO ₂	307 千 t-CO ₂

基本方針5 安心して暮らす

【アウトプット指標】

評価指標	現況	目標
ホームドアの設置駅数	2 駅	17 駅
緊急輸送道路・避難路・跨線部及び沿岸部に架かる橋りょうの耐震補強整備率	80.8%	100%

【アウトカム指標】

評価指標	現況	目標
1万人あたりの交通事故発生件数	24.7 件	20 件以下
災害対策に関する実現度 (災害に対して市民が不安なく暮らせていると感じているか)	57.2%	向上

基本方針	評価指標(アウトプット指標)	現況	目標
【基本方針1】 健康・幸福につながる 外出を促進する	シェアサイクルポートの箇所数	131 ポート	増加
	自転車通行空間の整備延長	3.3 km	ふじさわサイクルプラン 【実施画】の目標による
	歩道の整備延長	306.7km	320km



■ シェアサイクルポートの設置状況の例
⇒ 131ポート (2023年(令和5年)12月末時点の箇所数)



■ 自転車通行空間の整備状況の例
⇒ 3.3km (「ふじさわサイクルプラン(藤沢市自転車活用推進計画)【実施計画】」の第1期での整備実績)



■ 道路拡幅を行い、歩道を設置した事例
⇒ 306.7km (藤沢市「ワンポイント指標(令和5年度版)」)

基本方針	評価指標(アウトプット指標)	現況	目標
【基本方針2】 日々の移動を支える	鉄道駅数	21 駅	24 駅
	地域主体の乗合タクシーの導入箇所数	2 箇所	増加
	都市計画道路の整備率	77.5%	85%
	サイクルアンドバスライド施設数	4 箇所	8 箇所

■ 都市計画道路の整備率(各年の4月1日時点)

2019年(令和元年)	2020年(令和2年)	2021年(令和3年)	2022年(令和4年)	2023年(令和5年)
77.3%	77.3%	77.3%	77.5%	77.5%



■ 市内のサイクルアンドバスライド施設

基本方針	評価指標(アウトプット指標)	現況	目標
【基本方針3】 まちの賑わいを支える	主要幹線道路の整備率	85.2%	90%

■ 集計対象とする主要幹線道路(2024年(令和6年)3月時点)

番号	路線名
3・3・1	国道134号線
3・3・2	横浜藤沢線
3・3・4	藤沢厚木線
3・3・7	横浜伊勢原線
3・3・8	高倉遠藤線(石川下土棚線～辻堂駅遠藤線)
3・3・9	遠藤宮原線
3・4・1	国道1号線
3・4・2	藤沢町田線(国道区間)
3・5・1	戸塚茅ヶ崎線
3・5・2	鎌倉片瀬藤沢線

⇒ 85.2% (都市計画道路のうち上表の路線を対象路線として算出)

基本方針	評価指標(アウトプット指標)	現況	目標
【基本方針4】 環境に負荷をかけない	電気・燃料電池自動車(自家用車)の補助実績台数	527台	1,200台
	電気・燃料電池バスの導入台数	0台	向上

■ 電気・燃料電池自動車(自家用車)の補助実績台数(直近5か年)

2009(平成21)年度	…	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
0台	…	50台	37台	41台	72台

⇒ **527台** (2009(平成21)年度から2022(令和4)年度までの補助実績台数の合計)

基本方針	評価指標(アウトプット指標)	現況	目標
【基本方針5】 安心して暮らす	ホームドアの設置駅数	2駅	17駅
	緊急輸送道路・避難路・跨線部及び沿岸部に架かる橋りょうの耐震補強整備率	80.8%	100%

■ 集計対象とする橋梁(2024年(令和6年)3月時点)

対象橋りょう(52橋)		
河川橋	24橋	城下橋(小糸川)・新屋敷橋・石川陸橋・弁天橋・境橋(境川)・藤白橋・上村橋・東橋・円行新橋・大平橋・稲荷橋・石切橋・新石川橋・湘南台大橋・和泉橋・桐原橋・六会橋・湘南台橋・長後橋・龍宮橋・作橋・西浜橋・山本橋・日の出橋
跨道橋	13橋	大庭大橋・土棚石川線(第1・第2・第3・第4)・高倉遠藤線(第1・第2)・北の谷跨道橋・竜昇橋・高座橋・高倉橋・善行陸橋・渋沢陸橋
歩道橋	8橋	村岡歩道橋・善行歩道橋・鶴沼1号歩行者専用道歩道橋・大正堂歩道橋・石名坂歩道橋・市役所前歩道橋・湘南台歩道橋・高倉人道橋
跨線橋	7橋	山崎(新藤沢)跨線橋・弥勒寺歩道橋・京楽園跨線人道橋・赤松跨線橋・第二八軒町跨線橋・第一天沼跨線橋・上女坂跨線橋

⇒ **42橋** (2023年度(令和5年度)末時点の耐震化対策済みの橋りょう数)